

## 名誉教授山田雄三著作目録

(161) 名誉教授山田雄三著作目録

### 学生時代

アモンに於ける経済学的認識対象の社会的性質に就いて

『ヘルメス』大正十五年十二月

カール・メンガー研究(卒業論文) 昭和二年三月

### 補手・助手時代

チューネン分配論の研究 森山書店 昭和九年四月

ムーア「アントアヌ・オグユスタン・クールノーの人物」(翻訳) 中山伊知郎訳・クールノー『富の理論の数学的原理に関する研究』の付録 昭和二年十一月

ホブソン『合理化と失業』(書評)

『一橋新聞』昭和二年十一月二十四日

高田博士『分配の理論』(書評)

『一橋新聞』昭和五年七月二十五日

チューネン分配論研究

『国民経済雑誌』昭和五年九月、昭和六年一月、二月、五月  
『経済学と医学』 『大学と社会』昭和六年六月

レダラー『技術の進歩と失業』(書評)

### チューネン書目解題

『東京商科大学研究年報・経済学研究』(1) 昭和七年五月

ヴィルブラントの実践経済学

『福田徳三博士追悼論文集』昭和八年四月

供給価格と生産法則との関聯

『東京商科大学研究年報・経済学研究』(2) 昭和八年五月

静岡茶業調査

『一橋新聞』昭和十年四月十日

限界利用学派 東京商科大学一橋新聞部編『経済学研究の栞』昭和十年六月

### 欧州留学中

伯林短信

『一橋新聞』昭和十一年二月十七日

維納の日記から

『一橋新聞』昭和十二年三月十五日

G. Fujihara, "The Spirit of Japanese Industry" (書評)  
*Wirtschaftswissenschaftliches Archiv*, Juli 1937. 右アルヒー

フの巻頭文(日本文)

ヴィーン学派の人々 『一橋新聞』昭和十二年十二月十日

昭和十三年

ロッシアー 国家経済学講義要綱 (翻訳)

岩波書店(岩波文庫)十二月

大熊教授『経済本質論』(書評)

『一橋新聞』一月十日

計画経済と価格理論

『一橋論叢』三月

計画経済論一般

『一橋論叢』六月

価格の安定性

『統計学雑誌』六月

山田文雄『工業経済学』(書評)

『一橋新聞』七月二十五日

計画(統制)経済的「価格理論」に関する文献抜萃

『一橋論叢』十一月

昭和十四年

モルゲンステルン『経済学の限界』(書評)

『一橋論叢』二月

公定価格の構造

『一橋論叢』三月

オーストリア景気研究所の方法

『日本統計学会年報』第八年 四月

実践経済学への道

『一橋新聞』五月二十五日

統制経済論

『知性』六月

ハチスン『経済理論の意義と基礎要請』(書評)

『一橋論叢』八月

原価計算主義

『一橋新聞』十一月二十五日

昭和十五年

分配論 『新経済学全集』第二卷 日本評論社 七月、九月

ロビンス「国民主義的計画化と国際関係」(抄訳)

『国際経済研究』二月

ロビンス「国際的協定の経済的意義」(抄訳)

『国際経済研究』三月

カール・メンガー生誕百年

『一橋論叢』三月

計画経済と所得の問題

『理想』四月

メンガー父子の精密方法について

『一橋新聞』四月十日

ミュルダールの実践経済学

『一橋論叢』四月

国際経済と国民主義

『国際経済研究』六月

限界利用学派

東京商科大学一橋新聞部編『経済学研究の栞』改訂版 六月

自然法経済学の成立と崩壊(慶応義塾大学主催アダム・スミス

百五十年祭記念講演) 『三田新聞』および『経済往来』

(新経済学全集付録・第十号)

八月

ステーリイ『転換期の世界経済』(書評) 『国際経済研究』九月

岸本誠二郎『価格の理論』(書評) 『一橋新聞』十月十日

マーシャル「経済学者の旧世代と新世代」および「経済学にお

ける力学的類同性と生物学的類同性」(翻訳)

杉本栄一編『マーシャル経済学選集』十月

伊太利の通商的地位 『国際経済研究』十一月

マクス・ベアー『フィジオクラシー研究』(書評)

『一橋論叢』十二月

昭和十六年

国際分業の利害

自然的均衡と人為的均衡

厚生経済学の基礎前提

経済理論と自由主義的世界観

「物価」、「資本」、「統制経済」

東亜共栄圏貿易統計抜萃

独逸・伊太利に於ける経済体制の理論的考察

計画経済の理論

歴史は繰返へす

其の後のヴィーン学界

英米の文献に於ける世界経済秩序論

日本経済学会における統制経済論争について

『国際経済研究』二月

『一橋新聞』三月十日

『一橋論叢』四月

『統制経済』四月

『社会科学新辞典』四月

『国際経済研究』五月

『国際経済研究』六月

『日本読書新聞』八月

『一橋新聞』九月十日

『一橋論叢』十月

『国際経済研究』十一月

『一橋新聞』十二月十日

『一橋新聞』十二月十日

昭和十七年

ミュルダール 経済学説と政治的要素(翻訳)

計画の経済理論

需給統制と需給均衡

貿易より見たる東亜諸国「生産態」の類型

日本評論社 三月

岩波書店 十月

勁草書房 昭和二十六年六月

縮刷版 勁草書房 昭和二十六年六月

『一橋論叢』二月

『国際経済研究』二月

パローネ・ランゲの経済計算論

『東京商科大学研究年報・経済学研究』(7) 三月

「植民地」貿易

土屋清訳 ランゲ等『計画経済理論』(書評)

『一橋新聞』九月二十五日

経済計算論の課題

越村信三郎『経済循環の基本図式』(書評) 『一橋論叢』十一月

『日本経済学会年報』第二輯 十一月

『一橋新聞』九月二十五日

『国際経済研究』一月

イギリス一経済学者の将来観

国民経済と国民生産力

東京商大華北調査室について

北支に於ける食料物価問題の焦点

『一橋論叢』八月

『国際経済研究』十二月

『一橋論叢』八月

『一橋新聞』四月二十日

自由主義経済学を超越るもの

流通経済と自然経済

経済計算論と「価格パラメーター」の概念

日本統制様式論

『満州経済』十月

昭和二十一年

トライアル・アンド・エラー

日本経済の現実

国民所得に於ける「純所得率」の遞減

国民所得と生活水準

社会主義と計画経済

社会主義対資本主義

『法律新報』六月

『太平』七月

『一橋論叢』七・八月

『経済評論』十月

『中央公論』十一月

『一橋新聞』十二月五日

昭和二十二年

経済学の史的発展

世界各国における国民所得の比較

国民所得の分析(編著)

ビグー研究 東京経済学研究所編『経済学講座』第一卷、第二

卷、第三卷、第四卷、第六卷

東洋経済新報社 六月

アカギ書房 九月

日本評論社 十月

『経済学講座』第一卷、第二

一月、五月、九月、十月、昭和二十三年五月

『読売新聞』三月六日、七日

『東洋経済新報』四月

『産業経理』五月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

有沢広巳他編『戦後経済学の課題』(2) 十二月

昭和二十三年

資本主義経済計画と社会主義経済計画

ビグー『厚生経済学』

国民所得の研究(高橋長太郎・森田優三と共著)

論理的実証主義について

国民所得におけるバランスとアンバランス

経済予測のむづかしさ

安本計画案の構想について

世界経済と完全雇傭

国民所得の将来的課題

経済計画論の一課題

ヴェーバー初期の経済政策論について

社会科学の場

鎌倉文庫編『マックス・ヴェーバー研究』十一月

『一橋新聞』予科版 十二月十六日

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

有斐閣 五月

増訂版 昭和二十四年十一月

春秋社 六月

東洋経済新報社 七月

『一橋新聞』専門部版 一月

『一橋論叢』二・二月

『時代』六月

『横浜経済研究所時報』八月

『世界経済』八月

『世界経済評論』十月

『エコノミスト』別冊 十一月

『読売新聞』予科版 十二月十六日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

『日本政経研究』十二月

『読売新聞』七月九日、十一日

『通信協会雑誌』九月

『社会』十月

ケインズの「確率論」について

ケインズ研究会編『ケインズ経済学研究』六月  
生産性と収益性——ハンス・ペーターの所論について——  
『経済思潮』七月

英米流の国民所得概念に対する一疑問  
『経営評論』七月

「型」の分解と結合——特にオイケンの所説を中心として——  
『一橋論叢』三浦新七博士記念論文集 七月

ゲームの理論の人間型  
『一橋新聞』十一月十五日

経済計画——主として日本の経験の反省——  
山口茂・山田雄三・高橋泰蔵編『経済計画・資金計画』十一月

A・C・ピグー  
経済同友会編『近代経済学系譜』十一月

昭和二十五年  
現代の経済原論(高橋長太郎・山田勇・小泉明・小島清と共著)  
春秋社 五月、改訂版 昭和二十七年五月、三訂版 昭和三十一年三月、四訂版 昭和三十七年五月

社会科学の基礎  
黎明書房 六月

ミニ・マクス原則の要点  
『季刊理論経済学』四月

計画対象としての国民所得の決定  
『経済研究』四月

自立経済と貿易のウェイト  
『世界経済』五月

我が国産業構造の変化について  
山口茂編『経済計画と国民所得』下 五月

新厚生経済学の功罪  
『一橋論叢』九月

National Income and Industrial Structure in Japan, The

Annals of the Hitotsubashi Academy, No. 1, Oct.

ピグー教授  
国民所得推計と資本蓄積  
『経済評論』十一月

日本経済自立の諸条件  
『世界経済』十二月

昭和二十六年  
日本国民所得推計資料  
東洋経済新報社 五月

増補版 昭和三十一年一月  
経済学はいかに進歩したか  
春秋社 九月

政治的不安と科学的態度  
『社会思想研究』二月

Japanese National Income, The Oriental Economist, June 16, 23, 30.

都留重人『国民所得と再生産』(書評)『季刊理論経済学』七月

価格の確定・不確定  
『一橋論叢』九月

ベルグソン「社会主義経済理論」(翻訳)  
都留重人監修訳『現代経済学の展望』政策篇 十月

昭和二十七年  
経済学の歩み  
宝文館 七月

経済計画(編著)『経済学新体系』VI  
河出書房 十二月

戦後国民所得の推移  
『経済評論』二月

シュムペーター「マーシャル」(翻訳)  
中山伊知郎・東畑精一監修訳・シュムペーター『十大経済学者』五月

「遊戯の理論」における価格分析  
『一橋論叢』六月

日本の経済学・世界の経済学

『読売年鑑』十月(以後昭和三十九年まで毎年)

昭和二十八年

コリン・クラーク 経済進歩の諸条件 上・下(大川一司・小原敬士・高橋長太郎と共訳篇)

勁草書房 十月、昭和三十年六月

『一橋論叢』五月

杉本経済学の課題

スターリン論文と近代理論の反省 『経済研究』七月

西ヨーロッパの生活水準 『共同通信外国特信』十月十五日

西欧人の反省と自信 『読売新聞』十月十八日

昭和二十九年

近代経済学辞典(小泉明・篠原三代平と共編) 春秋社 二月

日本経済の計画論的考察 東洋経済新報社 三月

邦訳ビグー『厚生経済学』(書評) 『図書新聞』一月九日

経済学界点描 『東洋経済新報』新年特大号

最近の国際経済学 『エコノミスト』一月二日・九日

第三回国際国民所得学会 『経済研究』一月

The Income Growth and the Rate of Saving in Japan.

The Annals of the Hitotsubashi Academy, April.

現代経済学の論点 『東洋経済新報』別冊五月、七月、九月

経済発展における先進国と後進国 『アジア問題』六月

ミュルダール 『理想』六月

西ドイツにおける年刊誌「オルドー」について

『一橋論叢』八月

バートランド・ラッセル

再生産と所得決定

『東京経済大学創立五十五周年記念論文集』十月

昭和三十年

経済学 中央経済社 四月

近代経済学の生成(編著) 『経済学説全集』(9)

河出書房 六月

現代経済学の根柢にあるもの

白桃書房 十一月

経済における予測のむずかしさ 『如水会々報』一月

Notes on Income Growth and the Rate of Saving in Japan, *Income and Wealth*, Series V, ed. by Simon Kuznets, 1955.

福田博士の厚生経済学について 一橋大学一橋学会編『一橋

大学創立八十周年記念論集』上 九月

理論経済学 『一橋論叢』一橋大学創立八十周年記念号 十月

経済学上の利潤概念 『産業経理』十月

昭和三十一年

理論経済学——シムペーター著『経済分析の歴史』の紹介を

通じて—— 『一橋論叢』四月

「広い経済学」の立場と社会主義の論じ方

- 社会思想研究会編『経済学教科書の問題点』下 四月  
森嶋通夫氏の一論点について 『経済評論』六月  
日本経済の分析方法  
一橋大学一橋学会編『日本経済の分析』八月  
On the Five Year Economic Plan in Japan, *The Annals*  
of the Hitotsubashi Academy, October.  
経済五カ年計画について——若干の方法論的考察——  
『一橋論叢』十一月
- 昭和三十三年  
経済計画とモデル・ビルディング(編著)  
『経済分析シムボジウム』(5) 日本評論新社 四月  
社会的評価の研究(編著)  
『経済分析シムボジウム』(6) 日本評論新社 五月  
経済計画と予測(編著)  
『経済分析シムボジウム』(7) 日本評論新社 六月  
日本の経済計画(編著)  
『経済分析シムボジウム』(8) 日本評論新社 八月  
ハチスン 近代経済学説史 上・下(長守善・武藤光朗と共  
訳) 東洋経済新報社 三月、五月  
近代経済学史要 春秋社 十一月  
J. Robinsonと「古典派的」問題 『経済研究』四月  
日本経済における安定と進歩の条件 『経済評論』五月  
社会科学と「実験」 『世界経済評論』六月
- ナイト「経済学者と価値判断論」(藤井栄一と共訳)  
『アメリカナ』七月  
大学のありかたと募金問題 『如水会々報』八月  
チュルゴー「省察」のドイツ語訳本(一七七五年)について  
『久保田明光教授還暦記念論文集』九月  
経済計画における理論的モデルと歴史のパターン  
『経済研究』十月  
ポールディング「制度派経済学に対する新考察」(翻訳)  
『アメリカナ』十二月  
新長期経済計画の基礎 『経済評論』臨時増刊 十二月
- 昭和三十三年  
経済学の学び方(板垣与一・木村元一と共編) 白桃書房 四月  
政策認識における「哲学的」と「実証的」  
『赤松要博士還暦記念論集』一月  
経済計画の論点  
エノノミスト編集部編『対決する二つの経済学』二月  
柴田敬教授の「利潤率法則」を質す 『経済評論』四月  
所得理論のために 『中山伊知郎博士還暦記念論文集』九月  
計画における成長率とギャップの調整 『一橋論叢』十一月
- 昭和三十四年  
国民所得論 岩波書店 六月  
正田君、大へんだったね 『如水会々報』一月

ランゲの論文を読んで 『経済セミナー』 三月  
日本の経済計画 一橋大学一橋学会編 『日本経済の特質』 四月  
ポールディング『映像——生活および社会における知識』(書評) 『一橋論叢』 六月

日本経済の発展と経済計画

中山伊知郎編 『日本経済の解明』 六月

経済計画の実績とくるい

東洋経済新報社編 『経済統計年鑑』 六月

On the Method of the Economic Plan (1958—62) of Japan. *The Annals of the Hitotsubashi Academy*, August.

小原敬士訳・ミューダール『経済理論と低開発地域』(書評) 『一橋論叢』 十一月

価値判断に関するミューダールの最近の見解について

『一橋論叢』 十二月

昭和三十五年

経済計画(山田勇と共編)

春秋社 七月

W・G・ホフマン、J・H・ミューラー、その他『ドイツの国民所得・一八五一——一九五七年』(書評) 『経済研究』 一月

アメリカ経済学の幅

『経済評論』 二月

大学院中心の大学教育

『生産性』 三月

経済原則と経済の計画化

中等教育講座・社会科学編』 三月

アメリカ経済学視察メモ

『経済評論』 四月

所得倍増の意味するもの

『一橋論叢』 十一月

昭和三十六年

経済成長論争の反省

『東洋経済新報』 別冊 一月

レブケ教授の新自由主義

『経済往来』 四月

経済学と価値判断

『経済セミナー』 五月

ミューダール『福祉国家を越えて』(書評)

『季刊理論経済学』 九月

経済分析専門視察団報告(謄写刷)

九月

設備投資の大きさの基準

『金融ジャーナル』 九月

国民所得の国際比較 『金融ジャーナル』 十月、十一月、十二月、昭和三十七年一月、二月、三月

昭和三十七年

経済学のおゆみ

有信堂 七月

グンナー・ミューダール

『一橋論叢』 四月

篠原三代平他編『近代経済学講座』(書評)

『読書人』 四月二十三日

大来佐武郎『経済計画』(書評) 『日本経済新聞』 五月二十一日

対立を超えるもの 『民社党機関誌』 五月

前回の不況と今回の不況 『経済評論』 七月

就業構造の近代化とその変質 『東京広報』 七月

行為の合理性についての疑問 『一橋論叢』 十一月

昭和三十八年

経済の成長と型

岩波書店 九月



世界経済と民族主義の問題——ミューダールをめぐって——

一橋大学一橋学会編『転型期の世界経済』三月  
ポールディング「制度派経済学に対する新考察」(翻訳)

久武雅夫編『現代の経済学(2) 展望II』五月  
武野秀樹『国民所得と社会会計』(書評)

『東洋経済新報』五月十八日  
カール・メンガーの著書の最初の草案について

『一橋論叢』六月  
生産と生活とのつながり  
『国民生活』六月

工業化と国民生活  
『国民生活』七月  
北川一雄監訳・ミューダール『福祉国家を越えて』(書評)

『世界経済評論』七月  
マーシャルの産業組織論について

『酒井正三郎博士還暦記念論文集』八月  
成長とバランスと  
『経済セミナー』臨時増刊 八月

『如水会々報』八月  
城山君のこと  
『如水会々報』八月

『エコノミスト』秋季別冊 十月  
経済学からみた生産と消費水準の関連  
『エコノミスト』秋季別冊 十月

『経済研究』十月  
大川一司『日本経済分析』(書評)  
『経済研究』十月

『プレジデント』十月  
衣食足りて  
『プレジデント』十月

『大泉行雄博士還暦記念論文集』十二月  
所得増大と格差縮小との両立  
『大泉行雄博士還暦記念論文集』十二月

『仮説的』思考  
『経済セミナー』十二月

昭和三十九年

あきる  
『毎日新聞』夕刊 一月十六日  
日本経済に関する基本的な見方  
『中等教育資料』二月

アルフレッド・マーシャル  
『一橋論叢』四月  
人つくりと研修  
『公務員研究所年報』五月

小原敬士他訳・ミューダール『豊かさへの挑戦』(書評)  
『日本経済新聞』六月十五日

昭和四十年

『日本経済新聞』六月十五日  
経済成長と産業構造(塩野谷祐一・今井賢一と共編)  
『日本経済新聞』六月十五日

ストリートン「最近の厚生経済学に関する論争」(翻訳)  
春秋社 十月  
『社会思想研究』一月

『エコノミスト』三月  
社会保障制度のありかた  
『エコノミスト』三月

『一橋論叢』四月  
福田徳三先生  
『一橋論叢』四月

所得分布の戦前・戦後の比較  
『一橋論叢』四月  
布の実態および世帯構造変化に関する研究(謄写刷) 四月

『如水会々報』六月  
経済成長と社会開発  
『如水会々報』六月

『如水会々報』七月  
福田先生の厚生経済論  
『如水会々報』七月

『季刊理論経済学』八月  
経済政策の理論的接近  
『季刊理論経済学』八月

『季刊社会保障研究』第一号、八月  
創刊の辞 社会保障研究所編『季刊社会保障研究』第一号、八月  
国民経済計算、改訂の基本的なねらいとその意義

『経済セミナー』臨時増刊 九月  
社会保障と福祉対策について  
『経済セミナー』臨時増刊 九月